

会議録

会議の名称	平成21年度第8回 西東京市スポーツ振興審議会
開催日時	平成22年2月15日（月曜日） 19時00分から19時45分まで
開催場所	保谷庁舎別棟 A・B会議室
出席者	審議会委員：北岡委員、内田委員、土屋委員、指田委員、飯塚委員、三原委員、永村委員、福岡委員、金子委員（9名） 事務局：佐々木課長補佐、福田主査（2名）
議題	1 西東京市スポーツ振興事業補助金交付について 2 その他
報告事項	
会議資料の名称	事前配布：資料1 西東京市スポーツ振興事業補助金の審査結果 当日配布：平成22年度スポーツ振興審議会開催会場一覧（参考）
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録

会議内容

会長挨拶

配布資料確認（事務局）

資料1（1）の大会名称が不正確であったため差し替え

1 議題

西東京市スポーツ振興事業補助金交付について

○会長：

事務局から説明をお願いします。

○事務局：

（1）棟朝銀河選手

市内在住の私立中学校の3年生で、昨年11月にロシアで開催された2009世界年齢別トランプリン競技大会に出場しました。昨年5月に山形県で開催された選考会で第3位になり、今大会に出場権を得ました。成績は、15～16歳の部の個人種目が予選66人中4位、決勝は8人中4位。シンクロ種目が予選16組中6位、決勝は8組中優勝しています。補助金につきましては、申請額は272,040円ですが、選手1名の申請ですので、上限額の10,000円となっています。

（2）田無マックスジュニア（小野寺雅之選手）

コーチ1名、選手1名の申請です。小野寺雅之選手は、市立向台小学校の5年生で、昨年12月に千葉県で開催された第18回全国小学生バドミントン選手権の個人の部に出場し、成

績は2回戦敗退でした。本大会の予選である東京都大会・関東大会ではいずれも準優勝しております。補助金額につきましては、申請額22,840円に対して、コーチ・選手の計2名の上限額11,000円となっています。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○委員：

(1) の選手の練習場所は市内ですか。

○事務局：

市外のクラブチームに所属していると思われます。わかる範囲で確認しておきます。

○委員：

(2) について、前回の審議会で審議した、同じ大会に出場した選手は4泊だったのに対し、今回の選手は2泊となっていますが、その違いは。

○事務局：

前回ご審議いただいた選手は、団体戦にも出場しているのに対して、今回の選手は個人戦のみで、その差です。

○委員：

(2) について、前回審議した案件との比較ですが、前回の案件では申請額が41,620円、補助対象額が20,000円に対して補助額が20,000円となっている。今回は申請額が22,840円、補助対象額が22,840円に対して補助額が11,000円となっている。補助対象額と補助額の関係（表記の仕方）が、両案件で異なっているのでは。今回の案件の補助対象額が11,000円であれば、前回案件と同じ表記の仕方となるので理解できるが。

○事務局：

ご指摘のとおりです。補助額の上限は補助対象額の2分の1となっていますので、次回から表記の仕方を統一します。

○委員：

(1) に関連して、日本代表として国際大会に出場する場合は、所属する連盟がほとんどの費用を負担するはずですが。例えば陸上競技の場合は、ジュニアから国際大会に出る場合もほとんど陸上連盟が負担します。(1) も国際体操連盟が主催ですから、日本の連盟から費用が支出されているのではないかと。審査に当ってはその点をよく確認してほしい。

○事務局：

補助金の重複支給はできませんので、審査に当っては、本補助金の担当職員が聞き取り調査を行っています。以前卓球競技で申請をいただいたケースで、確認したところ卓球連盟から補助金が支給されており、それを差し引いた額を本補助金から支給した結果、300円ほどだったということもありました。

なお、前回ご質問のあった田無マックスジュニアというチームについて、わかる範囲で調べましたのでご報告します。入会対象は小学1年生から6年生までで、現在男女合わせて19名が所属しており、ボランティアの指導者が8名いらっしゃるそうです。関係者の支援

で運営されている団体だそうです。現在6年生2名が国体の強化選手に指定されているそうです。

○委員：
練習会場はどこですか。

○事務局：
主に総合体育館で、スポーツセンターを利用することもあるようです。なかなか会場が確保できないと、以前伺ったことがあります。

○委員：
練習は夜間ですか。

○事務局：
そのようです。

○委員：
何年くらい活動している団体ですか。

○事務局：
それは伺っておりません。

○委員：
向台小には10年以上前からバドミントンクラブがありますね。

○委員：
高校でもバドミントンをやりたいという新入生が多く、上手な新入生が結構入ってきます。おそらく地域にそういう下地があるからではないかと思います。

○委員：
向台小ではバドミントンのほかにサッカークラブもできて、地域の人や父兄が協力して活動を支援していました。

○委員：
サッカーも地元の高校と小学生が年に何度か交流しています。地域の（子供たちへの）活動があるから高校まで、あるいはその先までずっとつながっているのかもしれませんがね。

○委員：
バドミントンのジュニアチームは他にもありますか。

○委員：
学校の体育館で活動しているチームもあるようです。

○事務局：
調べてみます。

○会長：
他にございますか。

○委員：
昨年、保谷中学校の水泳部が全国大会で2位になりましたが、市からは補助はされていますか。

○事務局：
部活動については教育委員会から補助がございます。

○会長：
バドミントンのように、ジュニアから継続的にできるようなものが地域に育っていくような体制を、市としても考えていただければと思います。
2件の審査については、記載の方法をわかりやすいものにしていただくようお願いします。審査結果については了承ということでしょうか。

○委員：
(異議なし)

○会長：
予定していた議題は以上ですが、他に何かございますか。

○委員：
市は平成22年度に健康都市宣言をされる計画とのことだが、具体的に何か進んでいますか。

○事務局：
宣言に向けて、指定管理者のほうで何か事業ができないかと検討していましたが、3月に「シルバー月間」と称して高齢者向けの無料のスポーツ教室やプール・トレーニング室の無料開放を行う予定です。

2 報告事項

○事務局：
前委員の伊藤順蔵先生の西東京市教育委員会表彰が正式決定しました。2月23日の表彰式で表彰されることとなりましたので、ご報告いたします。
なお、3月の審議会は延期とし、次回は4月13日（火曜日）となります。

○会長：本日はこれで終了といたします。

